

建設が進んでいます

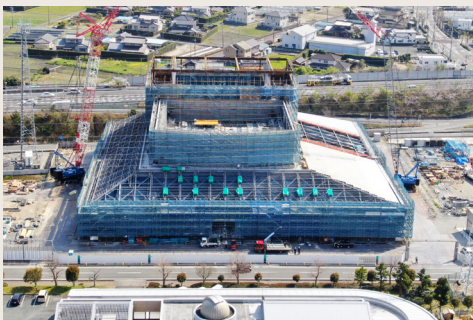
新しい文化会館

令和4年夏のオープンに向けて、(仮称)磐田市文化会館の建設を進めています。新会館の建設工事の様子、決定した愛称、整備のための寄付募集、ホールの顔となる^{どんちょう}緞帳(舞台幕)のデザインについて紹介します。

☎文化振興課(竜洋なぎの木会館内) ☎0538-59-3333 FAX 0538-66-7789

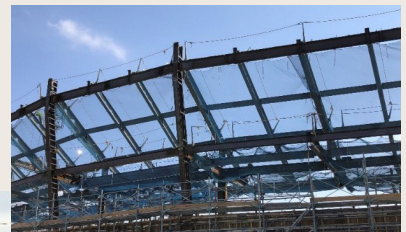


建設工事の様子



【令和3年3月27日撮影】

2階部分を施工している様子▶



◀客席を施工している様子
円筒形の筒は客席下の空調の吹出口になります。

交流ロビーコンクリート壁の様子▶
杉板の木目をコンクリートに転写しています。



新会館の特徴

- ▶ホール客席は1508席(うち車椅子席8席・親子席16席)あります。座席幅と前後の間隔は、旧会館より約6㍍広く、県内最大級の広さです
- ▶広々とした交流ロビーは、市民の交流の場として常時開放し、市民同士の文化活動などを広げる空間となります
- ▶女子トイレの数は旧会館より17基増えて37基となります



▲交流ロビー(イメージ)

(仮称) 磐田市文化会館の愛称が決まりました



「かたりあ」

～人々が演奏や演劇を楽しみ、その感動を心ゆくまで語り合えることを願って～

令和2年10月16日から11月30日まで、(仮称) 磐田市文化会館の愛称を募集したところ、36都道府県から602作品(うち市内から333作品)の応募がありました。

応募作品の中から、最優秀賞として深澤輝子^{きこ}さん(磐田市)の作品「かたりあ」が選ばれました。「かたりあ」は、「語り合う(かたりあう)、語り合える(かたりあえる)」の言葉から考えた作品です。

深澤輝子さん 受賞コメント

この度は、私の作品を選んでいただき本当にありがとうございます。何気ない一言が、新しい文化会館の愛称に決まり、とても光栄です。多くの人々と同じ空間を共有できることは、私たちにとって大きな楽しみであり、喜びであると思います。

しかし、今、新型コロナウイルスの影響で、私たちのそのような大切な機会が失われています。新しい文化会館に大勢の人々が集い、感動や喜びを分かち合い、語り合えることができる。そんな日が1日でも早く訪れることを、心から願っています。

整備のための寄付を募集しています

新しい緞帳の制作や備品の購入などに活用させていただきます。皆さんからの温かいご支援をお待ちしています。

- ▶ 募集期間 令和3年12月28日まで
- ▶ 寄付金額 個人 1万円から
法人 10万円から
- ▶ 申し込み方法など詳しくは、市ホームページ(ページ番号:1008523)をご確認ください。電子申請での受け付けもしています。

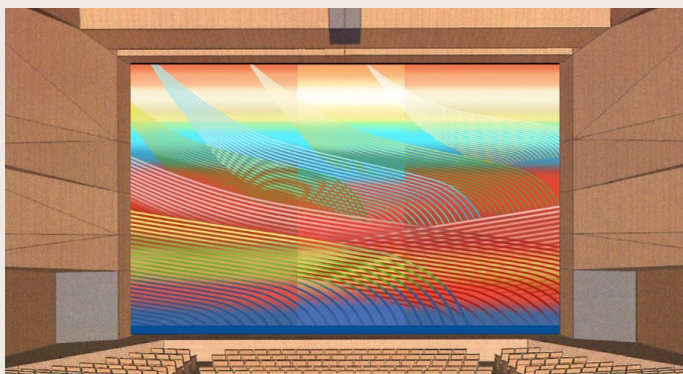


▲電子申請

寄付の状況 (3月31日現在)

| | 件数 | 金額 |
|-----|-----|------------|
| 個人 | 38件 | 1,530,000円 |
| 法人 | 11件 | 6,100,000円 |
| 募金箱 | - | 3,452円 |
| 合計 | 49件 | 7,633,452円 |

どんちょう 緞帳 (舞台幕) のデザインが決まりました



れいめい 磐田黎明

磐田市の黎明をモチーフに、美しい海の青、豊かな自然の緑、人々の情熱の赤など市章に用いられている色をメインの色調とし、その上に翼のイメージのラインの形を重ね、新しい時代「明日」への羽ばたきを表現。またラインの重なり合いで、人々の交流を表現し、ゆとりと活力のまち磐田市を象徴的に描いています。

会館の舞台を彩る緞帳を新調するにあたり、複数のデザイン画の中から、市民アンケートによる意見も参考にし最終原画を決定しました。今後はこの原画をもとに、綴織(手織り)により華やかさを加え、開演前の高揚感に繋がるよう約1年かけて緞帳を制作していきます。